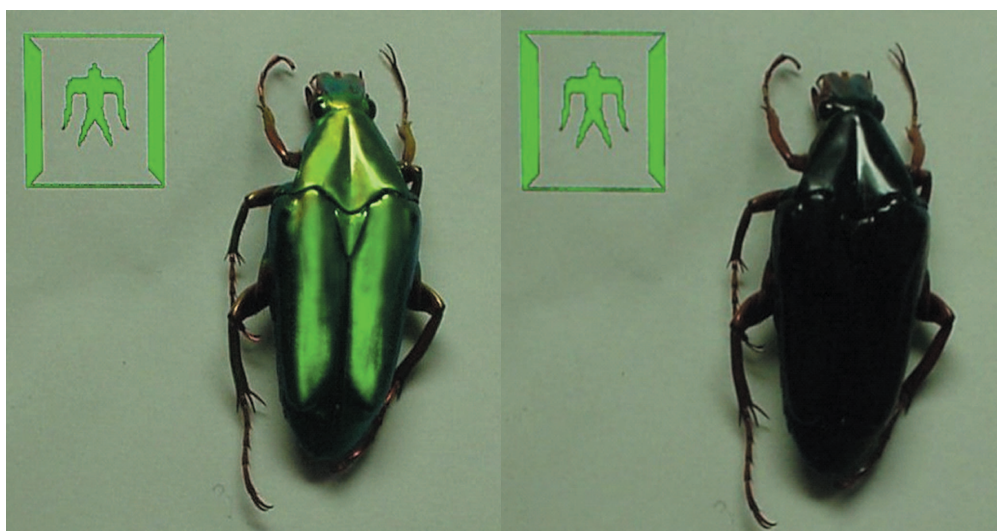


Color Gallery

ヘッドライン

昆虫の卓越した能力を化学する

❖ コガネムシの不思議な体表を化学する 渡辺 順次



(a)

(b)

図1 円偏光子を通して見たコガネムシ。(a)は左円偏光子を通して、一方(b)は右円偏光子を通して見たもの。左上の印刷による緑色は両者変わらず見えるが、コガネムシの体表の色は(b)では消えている。P381

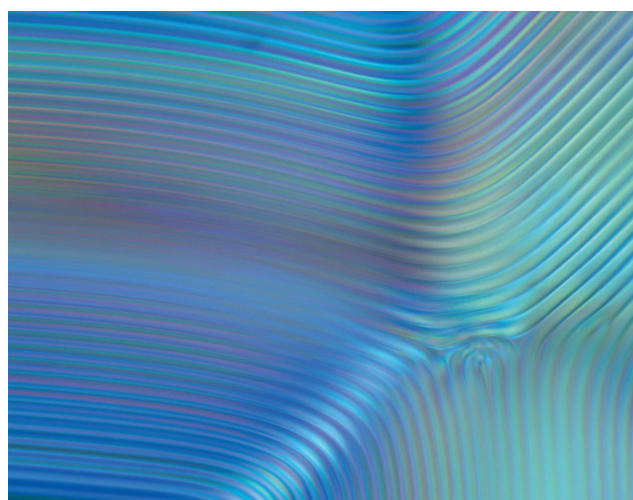


図3 ポリペプチドのリオトロピック・コレステリック液晶の顕微鏡写真。縞の間隔（ここでは約 $5\mu\text{m}$ ）がハーフピッチを表す。P381

❖ コガネムシの不思議な体表を化学する 渡辺 順次

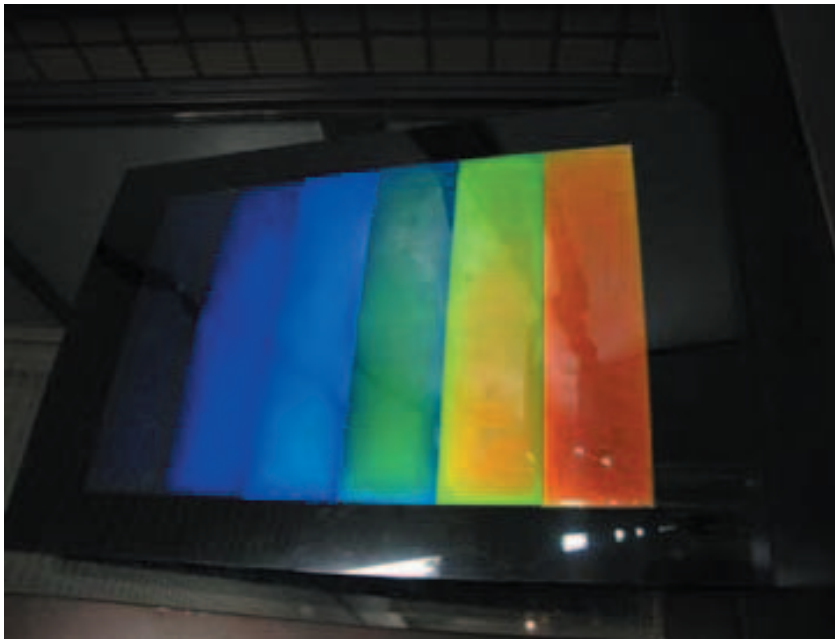
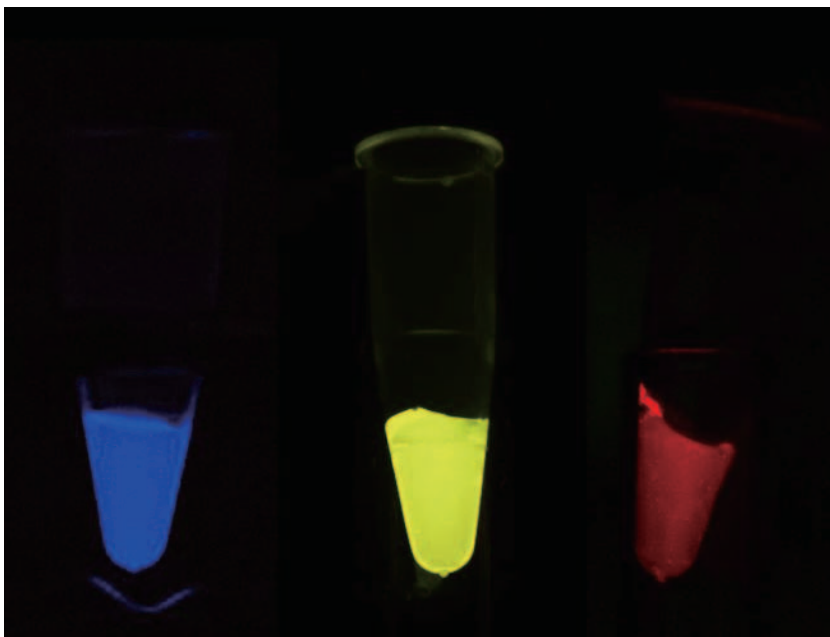


図4 ポリペプチドのサーモトロピック・コレステリック液晶を急冷して得たコレステリック固体フィルム。急冷前の温度を変えることで、ラセンピッチを変化させ、色を赤から青まで変化させてある。P382

❖ ホタルの光を化学で作る 牧 昌次郎



ホタル生物発光系（発光酵素は北米産ホタル発光酵素）で、RGB（675, 560, 450 nm）を、世界で初めて実現した。P394 図4 参照。